

公益財団法人日本文学振興会

令和5年度事業報告書

1. 令和5年4月18日（火）午後4時より、東京會館「アゼリア」にて、第30回松本清張賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

森バジル「ノウイトオール」

その贈呈式および披露は6月23日（水）午後5時より東京會館「SAKURA」にて開催（大宅壮一ノンフィクション賞と合同）、受賞者に正賞時計、副賞500万円を贈呈した。

2. 令和5年5月17日（木）午後4時より、東京會館「アゼリア」にて第54回大宅壮一ノンフィクション賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

伊澤理江『黒い海 船は突然、深海に消えた』（講談社刊）

その贈呈式および披露は6月23日（水）午後5時より東京會館「SAKURA」にて開催、受賞者に正賞100万円、副賞の日本航空株式会社提供による国際線往復航空券を贈呈した。

3. 令和5年7月19日（水）午後4時より、築地「新喜楽」にて第169回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 市川沙央「ハンチバック」（「文學界」5月号）

直木賞 垣根涼介『極楽征夷大將軍』（文藝春秋刊）

永井紗耶子『木挽町の仇討ち』（新潮社刊）

その贈呈式および披露は8月25日（金）午後4時より帝国ホテル東京「孔雀の間」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

4. 令和5年10月2日（火）午後17時30分より、麻布「中国飯店富麗華」にて第71回菊池寛賞選考顧問会を開き、下記の5名の授賞を決定した。

東野圭吾

デビュー以来40年近くに亘り、ミステリー小説の世界を牽引。普遍的な世界観に裏打ちされた作品群は幅広い支持を集め、本年国内累計1億部突破。映像化、翻訳を通じて国内のみならず世界をも夢中にさせている。

片岡仁左衛門

十五代目として上方歌舞伎の大名跡を襲名し四半世紀。色気あふれる悪党から人情味豊かな旦那役まで幅広い芸域をもち、コロナ禍においても、一世一代の大役を次々につとめあげ、無比の存在感を増している。

野沢雅子

日本の声優を代表する草分け的存在として、1963年国産初のテレビアニメシリーズ「鉄腕アトム」出演を皮切りに「ゲゲゲの鬼太郎」「銀河鉄道999」「ドラゴンボール」等人気作品の主演をつとめ、世代を超え愛され続ける。

東京新聞・小沢慧一記者

「30年以内に70～80%」という南海トラフ地震の発生確率が、水増しされた数字であり予算獲得などのために科学が歪められている実態を非公開の議事録や古文書の調査など丹念な取材によって明らかにした。

栗山英樹

野球日本代表「侍ジャパン」監督として、2023ワールド・ベースボール・クラシックで30名の選手たちの力を結集させ、見事世界一に導く。人々に感動を与えるとともに、野球という競技の魅力を再認識させた。

その贈呈式および披露は12月1日（金）午後5時より、オークラ東京「曙の間」にて開催、受賞者に正賞時計と副賞100万円を贈呈した。

5. 令和6年1月17日（水）午後4時より、築地「新喜楽」にて第170回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 九段理江「東京都同情塔」（「新潮」12月号）

直木賞 河崎秋子『ともぐい』（新潮社刊）

万城目学『八月の御所グラウンド』（新潮社刊）

その贈呈式および披露は令和6年2月22日（木）午後5時より東京會館「ローズ」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。 以 上